

科目名	配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数	担当者
感染症学 Infectious Diseases	3	A-F	後期	A群選択	1.5	タカマツ ヒロム、 ウエノ ヒシ 高松 宏治、 上野 仁
【授業概要・目的・到達目標】 [生物系薬学を学ぶ] C10生体防御 (3)感染症にかかると、代表的な感染症を理解するため、病原微生物に関する基本的知識を習得する。C11健康 (3) 疾病の予防:公衆衛生の向上に貢献するため、感染症についての現状とその予防に関する基本的知識を習得する。 (3回:上野担当、10回:高松担当)						
【授業方法と留意点】 テキストとPowerPointを用いて、モデル図や写真を中心に解説する。						
【科目学習の効果(資格)】 薬剤師にとって感染症とその予防に関する知識は必須であり、国家試験の出題対象でもある。						
回数	授業テーマ			内容・方法 等		
1	病原体とは何か？			感染症を引き起こす原因は何か？ヒトの病原体として重要な真核生物・原核生物・ウイルス・プリオンについて概説する。		
2	DNAウイルス			主なDNAウイルスと、それらが引き起こす代表的な疾患について解説する。		
3	RNAウイルス			主なRNAウイルスと、それらが引き起こす代表的な疾患について解説する。		
4	レトロウイルス			レトロウイルスが引き起こす疾患について解説する。		
5	グラム陰性細菌			主なグラム陰性細菌と、それらが引き起こす代表的な疾患について解説する。		
6	グラム陽性細菌			主なグラム陽性細菌と、それらが引き起こす代表的な疾患について解説する。		
7	抗酸菌とその類縁菌			抗酸菌を中心にマイコバクテリウム属細菌の特徴と、それらが引き起こす代表的な疾患について解説する。		
8	スピロヘータ・マイコプラズマ・リケッチア・クラミジア			スピロヘータ・マイコプラズマ・リケッチア・クラミジアの特徴と、それらが引き起こす代表的な疾患について解説する。		
9	真菌感染症			主な真菌と、それらが引き起こす代表的な疾患について解説する。		
10	原虫と寄生虫			主な原虫や寄生虫と、それらが引き起こす代表的な疾患について解説する。		
11	感染症の現状			現代における感染症の特徴、関連する法律、分類について解説する。		
12	感染症の対策			感染症対策について解説する。		
13	感染症の予防			感染症の予防について解説する。		
14	—————			—————		

【関連科目】
微生物学、免疫学、公衆衛生学Ⅱ

【教材等】
教科書・・・南山堂「微生物感染症」必要に応じて印刷物を配布したり、PowerPointを用いて解説する。

参考書・・・日本薬学会編「生物系薬学Ⅰ」、廣川書店「考える薬学微生物学」

【学生へのメッセージ】
ヒトは多種多様な微生物と関わり合って生きている。ほとんどの微生物はヒトにとって無害だが、一部に感染症を引き起こすものが存在する。感染症は遠い世界の出来事ではない。感染症を理解し、医療および公衆衛生の向上に貢献できる人材となるよう期待する。

【評価方法(基準)】
試験、学習態度、出席状況などを総合評価。

【担当者の研究室等】
1号館5階(公衆衛生学研究室)
1号館5階(微生物学研究室)

【備考】